

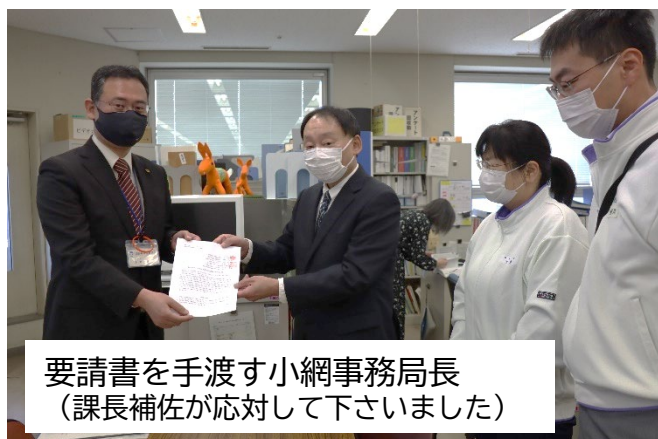
第18期 新潟民医連 スローガン

○綱領を確信し「医療・介護活動の2つの柱」の実践を通し、共同組織とともに人権としての社会保障を充実させる運動と経営改善を進めよう。

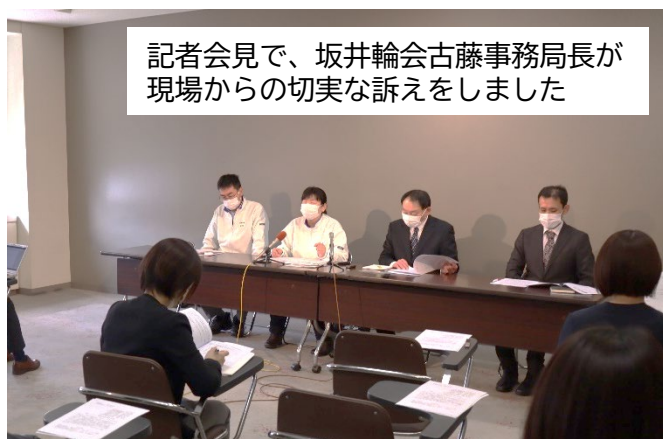
○市民と野党の共闘を大切に、共同の力で安倍政権による9条改憲ストップ！核兵器廃絶、地球環境保全・原発ゼロの運動を飛躍させよう。

○医師確保をはじめとする新潟民医連を担う人材の確保と養成、学びあい育ちあう職員集団を築こう。

『県福祉保健部へ要請』『記者会見』実施 新聞やニュースで報道されました



要請書を手渡す小網事務局長
(課長補佐が対応して下さいました)



各社での報道

NST <https://onl.la/WHiR7Wk>

BSN <https://onl.la/RsfWdxT>

新潟日報 <https://onl.la/Qz26VeC>

NST



BSN



新潟日報



3/4(金)県福祉保健部高齢福祉保健課に、以下の要請を行いました。

1. 事業所への減収補填について検討して頂けますよう、お願い致します。また、国にも制度策定を申し入れて頂けますよう、お願い致します。
2. 介護従事者が陽性・濃厚接触になった場合の、宿泊・休憩施設を、県で支援制度をつくり、自治体に周知して頂けますよう、お願い致します。

要請後は、県政記者クラブで、記者会見を実施しました。

「新潟日報」「しんぶん赤旗」「NST」「BSN」が取材に来てくれました。

小網事務局長より、本日の福祉保健部への要請内容について説明、その後に坂井輪会の古藤事務局長が、現場からの切実な訴えをしました。その後、記者から多く質問がありました。

NSTとBSNは当日夕方のニュースで、新潟日報では3/5付けの紙面で紹介して頂きました